

『向島の豊かな自然と生きものたち』

瀬戸内海のひとつの小さな島「向島」に、どのくらいの生き物がいるのだろうか？
そんな不思議を調べてみたくて、捕虫網を使ったりワナを作ったりしてつかまえた、いろんな虫のアレコレ…

たくさんの虫達に出会え、虫の棲む環境を知り、本当に豊かな自然が残る「向島」を知る事ができました。

こんなにたくさんの虫達が島の中で生きていることを知ってほしく、たくさんの虫がいるという事はその虫が食べるいろんな植物があり、その虫を食べる多くの鳥も棲んでいる…そんなことに思いをはせて、これを見る全てのみんなにおもしろおかしくワクワクし、心豊かになってほしい気持ちを伝えたいと思います。

第1回 向島の大きいトンボ小さいトンボと いっぱい虫達アレコレ！

向島のトンボは、1973年にしまなみ海道建設にともなう自然環境保全のための調査が石原保氏らにより行われ、19種が記録されました。

2005年、つるかめクラブ活動として島内のトンボ再調査が同クラブ向井靖夫氏や安達隆昌氏により行われ、15種を追加記録し、向島のトンボは合計6科34種が記録されたことになりました。

しかし自然環境は年々変化しているので、現在はその数も変化しているものとおもわれます。

尾道市民センターむかいしま こども図書館『わくわく』
昆虫標本展示に寄せて

花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ
つるかめクラブ